

THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



WEEKLY

なごや
ちくさ

題字 黒野貞夫

名古屋千種ロータリークラブ
承認 1982年 8月24日
例会日 火曜日 12:30
例会場 愛知厚生年金会館
事務局 ☎763-5110
会長 黒須一夫
幹事 大口弘和
会報委員長 秋山茂則

No. 13

ロータリーを楽しもう!
ENJOY ROTARY!

1989~90年度 RI会長 ヒュー M.アーチャー

第355回例会 平成元年10月3日(火) 雨/晴

- ◇ “君が代”
- ◇ “奉仕の理想”
- ◇ 出席報告

会員	61(60)名	出席	41名
出席率	68.33%		
前回	9月26日 (修正出席率)100%		
- ◇ ビジター紹介 8名
- ◇ お誕生日祝福
 西川夫人(10/5)、太田夫人(10/11)
 成田夫人(10/14)、杉浦夫人(10/14)
- ◇ ニコボックス
 永井 正義君、太田 茂君、秋山 茂則君
 宮尾 紘司君、竹内 真三君、西村 禎二君
 吉田 節美君、大口 弘和君
 9月26日(火)午後6時よりクラブ奉仕小委員会
 を開催しました。
 皆さんよりご意見を伺い、大変意義ある会と
 なりました。
 松居 敬二君 10月2日(月)ベルグラビアカン
 トリー倶楽部がオープンいたしました。
 皆様のお越しをお待ちしております。
 太田 茂君 小坂井さん、過日はお世話に
 になりました。夫人誕生日祝い。
 西尾 正巳君 三越 星ヶ丘店 10月1日
 満15年記念日
 西川 豊長君、成田 良治君 夫人誕生日祝
 い。
 佐久間 良治君、竹内 真三君、北野 寿三
 郎君 結婚記念日祝い。
 杉浦 比左夫君 夫人誕生日祝い。結婚記念
 日祝い。
- ◇ 黒野米山奨学副委員長報告
 9月12日(火)郵便貯金会館で第276地区米山
 奨学委員長会議が開催され、菅原委員長がア
 メリカ出張中のため、私が代理出席させて
 いただきました。
 米山財団に関しては、会員の関心が比較的

低いようですが、奨学生の方々には大変好評
です。この米山月間を契機にぜひともご協力を
を賜りたいと存じます。

◇ 大口幹事報告

1. 次回例会終了後、臨時総会を開催いたし
ますので、全会員の方はそのままお残り下
さい。

◇ 永井副会長挨拶

“故事ことわざ”

会報委員長秋山さんに、今週の言葉の欄に
載せる一言をたのむといわれていました時に
買い物にいきました文房具屋さんで、ことわ
ぎ格言辞典のポケット辞典がありましたので
買って読みました。随分たくさんのが故事こと
わざがあります。いちばん多いのが、は行の
「ひ」のところまで300ありました。その中で
人と一(ひとつ)が付くのが大部分でした。

あ行の「あ」の所を見ますと172ありまし
た。皆さんがご存じのことわざを拾って見ま
した。愛想も小想も尽き果てる、あいた口に
戸はたたぬ、相手のない喧嘩はできぬ、仰い
で天に愧じず、青菜に塩、青菜は目の薬、赤
子の手をひねる、秋高く馬肥ゆ、商い上手の
仕入れ下手、秋茄子嫁に食わずな、秋の日は
釣瓶落し、悪妻は百年の不作、悪事千里を走
る、悪女の深情け、悪銭身に付かず、開けて
悔しき玉手箱、類で背中を掻く、浅い川も深
く渡れ、朝起き三文の徳、朝題目に宵念仏、
朝日が西から出る、朝に紅顔あって夕に白骨
となる、朝夕に及ばず、足下から鳥が立つ、
足を万里の流れに濯ぐ、明日ありと思う心の
仇桜、明日の百より今日の五十、東男に京女、
当たって砕けよ、頭隠して尻隠さず、中らず
と雖も遠からず、当たるも八卦、仇を恩にし
て報ずる、彼方立てれば此方が立たぬ、毎年
2回は口ずさみます、暑き寒さも彼岸まで、
後足で砂をかける、後は野となれ山となれ、

後へも先へも行かぬ、姉女房は身代の葉、あ
の声で蛸蛸くらうか時鳥、痘痕もえくぼ、危
ない橋を渡る、虻蜂取らず、油に水、甘いも
のに蟻がつく、雨垂れ石を穿つ、余り物に福
がある、過ちては改むるに憚ることなかれ、
蟻の穴から堤の崩れ、有る時払いの催促無し、
慌てる乞食は貰いが少ない、合わぬ蓋あれば
合う蓋あり、案ずるより生むが易し。

「あ」の付く所がこれだけで1/3 ぐらいです。
私が知らないことわざで面白いのがありました。
明るきゃ月夜だと思ふ、これはものごと
が起るにはいろいろ原因があるのにたった
ひとつしかないと思ひこんでいて他のことは
考えつかないことだそうです。次に当たらぬ
物は夢と楞蒲一、これは夢とぼくちは両方と
も当ることがないということで、ちょばいち
とはサイコロぼくちのことです。網の目に風
たまらず、これはどんなにためようとしても
むだなことのとえです。網の目に風とまる、
これは起るはずのないようなことでもたまに
は起ることがあると言うことです。「あ」の
付くことわざはまだまだたくさんありますが
これぐらいにします。ことわざの本のはしが
きにことわざは人間の知恵のかたまりといわ
れます。人間はそれぞれの時代に生きて、そ
の時代の体験を繰り返す、失敗や成功をしな
がら今日の文化をつくりましたが、そのとき
に後世の人にぜひいいのこしておきたいこと
が自然に伝わったのがことわざや故事格言
なのです。ことわざはけって気どったもの
でなく人間生活の善悪をわきまえさせ、人が
世の中に生きていく処世を勇気づけるもので
すと書いてあります。会員の皆さんが会報に
載せられる今週の言葉の欄を楽しみにしてい
ます。

◇ 講 演

“留学生活と専門学会”

米山奨学生

李 忠孝 氏



今年10月になって私の留学もそろそろ3年
目になります。今ふりかえてみますと、短
いですが、おもしろかったことから専
門学会のことでいそがしかったこと、また、

家族のこと特にこどものために心配したこと
などいろいろおもいだします。勉強の方は、
おもに実験とその結果の解析、それから学会
で発表、そのようなことがつきからつきで、
なかなかひまがありませんでした。来年から
進学がきまりましてまた3年間勉強するつも
りであります。日本のことは勉強の他にもい
ろいろな分野に興味があります。日本語、お
おずもう、たべもの、それから新しいものと
古いものの結合などがそうです。

最近おぼえた日本の国字、それは漢字二つ
を合成して日本で作られた字、例えば「ハタ
ラク」「働」が、“はたをらくにする”のい
みでむすびつけて考える意識とかその他、畑
(はたけ)、峠(とうげ)、辻(つじ)、榊
(さかき)など非常におもしろいです。今年
は国際学会を含んで4回の専門学会に参加し
ました。日本ではすくなくとも私の分野にお
いて大きな学会がよく開かれ、自分の研究を
活発に討論できるいいチャンスでありました。
新しい機能材料を研究している私にとっては
材料の実用化がもっとも重要であり、最近超
伝導材料のようなせんたん材料においては日
本がほぼ実用化のどんかいになっております。
時間はお金でかえないものです。研究のこと、
家族の生活でいそがしくて他のことはなか
なかに考えるひまがないといつも思ってお
りましたけれども、今からまた3年間の間、も
っと勉強以外のものについても習っていき
たいと思います。またみなさんから、いろ
いろなことを教えていただきたいと思
います。どうぞよろしくお願ひいたします。

“私の見た日本”

米山奨学生

張 國華 氏



米山奨学生の張國華でございますが、い
つもお世話になりまして、誠にありが
とうございます。現在は、名城大学法
学研究科博士課程に在籍し、矢野勝
久前学長の御指導の下に行政法学
を学んでおります。

本日は、15分程の講演を頼ま
れましたけれども、自分の専攻分野
の法律を話しますとあまりに堅
苦しいと思われれます。しかし、15分

間で、又、日本語で何をお話しようか、と本当に迷いました。考えた上に考えた結果は、やっぱり、外国人きまり文句の「私の見た日本」というテーマに致しました。

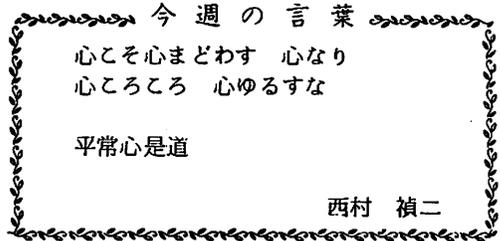
私は、学会、研究、観光等、色々な機会ヨーロッパ、アメリカ等の先進国とアジア諸国を回りましたが、日本のような社会の均一、画一性な国は、まず見たことはありません。日本における「社会の画一性」というのは、単一民族は勿論、日常生活の行動(習慣)が一致し、教育方法のために人の表現のし方のすべてが、一つの模型から成立して来たように感じさせたのであります。例えば、皆さんは、ゴルフをなさっている人が殆んどだと思います。その打ち方のフォームをもし見せてもらえば、きっとワン・パターンであることは容易に推測できます。テニスなど他のスポーツでも同じだと思います。それから、流行のことについて、街に歩いている女性たちのヘア・スタイル、化粧のし方とファッションを見れば、ほぼ同じではないか、サラリーマンたちが着ている背広は殆んど均一な地味な色で、格好も一緒ではないか。又、道路に走っている車の色も同じ色ばかりであります。とにかく、一言で言えば、「なんでも一緒」で、個性的じゃないということ。しかし、個性的じゃない、「画一性なこと」こそ日本の社会全体の独特の個性ともいえるのではないかと思います。

それから、日常生活の行動の一致性について、日本人は団体行動が好き、とよく言われます。確かに、外国で見た日本人は、殆んど固まって、一緒に行動することが多いようです。しかし、私は、日本人が団体行動が好き、と言うよりも「内心の自由」はない、と言った方が日本人の国民性に合っていると思います。人権というものは、日本国憲法の中の特徴の一つであるが、個人の自由を尊重し、保障するということです。たしかに日本の法律を読むと、日本は民主、自由な国であるに違いありません。それにも拘わらず、日本の社会に現実的に入り込んで見れば、その社会の厳しさ、その見えない法律(習慣)は、どうもそうではないらしいと思えます。人の行動の表現の自由は、いわゆる世間の目に厳しく、監視と拘束されている。言い換えれば、やりたいことを勝手に行動できない。やりたくないことでもせざるをえない、目立つことや派手なことをしてはならないという「内心の不自由」の国民性である、といえるのではなからうか。ここで、いくつかの例をあげてみましょう。例えば、会社の引ける時間になっても、誰かが一人先に帰らないと、帰りたくても帰りづらいとか、酒の席で先に外れた

いけれども、言いづらいことなどです。近來問題となっている学校のいじめ問題も、同じことだと思いますが、皆がやっているから、自分も一緒にやらないと奇異目に見られ、今度は自分も狙われる恐れがあるかも知れないと思い、つい自分の意思ではなく、やってしまいます。

日本の社会を均一と画一性にする原因は、教育の方法は言うまでもなく、その「内心の不自由」という国民性もその要因の一つだと思います。しかし、「内心の不自由」という国民性こそ日本の社会の秩序と治安の安定性を維持するもう一つ見えない法律ではないかと感じました。

以上は、私の見た日本の一つの側面でありますが、何分にも日本に来てからの日は浅く、まだまだその理解も充分とはいえないため、勘違いしている所は結構あると思います。何卒、今後ともよろしくお願い致します。



◇ 9 月度理事役員会議議題

1. 新入会員候補者の件
2. 指名委員の件
3. 10月24日(火) 分区代理訪問の件
4. 緊急連絡の件
5. 11月21日(火) F.S.M.日時変更の件

◇ 例会変更のお知らせ

- 名古屋南 R C 10/25 (火) 秋の夫人同伴家族会の為、名古屋不二パークホテルにて PM 6:00 より
- 名古屋守山 R C 10/28 (土) 秋の家族会及び職場例会の為(トヨタ自動車及びトヨタ博物館見学) 10/25 (火) 豊田そごう内「日本料理 加瀬」にて PM 1:20 より

◇ 次回例会(10月17日)

- 講演 “職業奉仕雑感”
服部外科院長(東海 R C 会員)
服部 義則 氏 (紹介 松居君)

◇ 次々回例会(10月24日)

- 講演 “これからの海洋レジャー基地としてのマリーナの展望について”
榎ヤマハマリーナ浜名湖取締役支配人
廣江 五十七郎 氏
(紹介 小坂井君)

地区クラブ奉仕委員長としてのお願い
「例会のあり方、もち方」



国際ロータリー第276地区
クラブ奉仕委員長 山田 昇平

ロータリークラブ定款第七条に「本クラブの会員はクラブ例会に出席しなければならない」と規定され、細則第四条に「本クラブの毎週の例会は何曜日何時に開催するものとする」と定められて居ります。そしてクラブ例会については出席、議事の順序が述べられている程度で詳しい事は余り規定されておられません。

このことは、各クラブそれぞれの独自性を重視し特色あるクラブ運営なり、クラブ例会を行うことが要請されていると考えるべきでしょう。

ところで本年度のR.I.アーチャー会長が「ロータリーを楽しもう」のテーマの中で「ロータリー活動には楽しみがいっぱいあります。毎週の例会であなたは同僚会員と顔を合わせます。そこでは、この人たちが持っているさまざまな趣味や知識から受ける刺激によってあなたの関心を地域社会に向けてくれます。……自己中心の殻から抜け出て、他者への奉仕という不思議な世界へ連れ出される……あなたの胸のうちに満ち足りた思いが広がりませんか？……要するにロータリアンであること、そして地域社会の指導者たちと手を携え、日々実り豊かな命の流れに身をゆだねることは、何とも気持ちのいいことなのです。」と述べております。

そんなクラブ例会を持てる様にクラブ奉仕

の各委員会を始め会員全員が心掛ける必要があるのではないのでしょうか？

ロータリアン・フェイスと言う言葉があります。毎週一回は例会で必ず顔をあわせ、時間を正確に守り、約束は違えず、常に奉仕を考えていると言う日常の共通の習慣のために徐々に刻まれてくるものと言われております。

親睦と友愛の根本に、個々の自覚と人間形成活動が出来る場こそクラブ例会だと言えます。

さて、会員の例会出席は義務か権利か議論が分かれる所ですが、義務と思うと息がたちます。ロータリアンのみが持つ権利と思ってこの権利を正しく行使しようではありませんか！ R.I.が欠席に対して厳しい処置を決め規定に満たない者は自動的に身分を失うことにしておるのは、正しく権利を行使しない者への罰であると考えべきでしょう。

例会の持ち方については、いろいろあると思いますがマンネリ化を避けるべく工夫をこらして頂きたいと思いますが、もう一つビジターの迎え方についても心温まる応対を是非心掛けて頂きたいものです。

例会出席が楽しみになった時、真のロータリアンと田中パストガバナーが言われましたが、その様な例会の場を作ることが、クラブ奉仕委員会の責務ではないのでしょうか……。

以上